



北海道方面

歌笛の拓殖道路

日高國浦河郡荻伏村宇上野から隣村三石村歌笛市街へ到る道路約一里半の開鑿工事計畫け、沿道關係住民多年の要望で、既に第二期折計案中にも編入されてゐるので、室蘭土木事務所では過般來百林、作場兩技手を派し、實地測量に従事せしめてゐるが、同拓殖道路竣工の曉は上野深の農家六十餘戸は四里を隔つる荻伏村市街との商取引を

地方通信

廢し、殆ど四分一の距離に在る歌笛市街との間に新たに農産物、日用雜貨の取引が開始され頗る便利となるであらう。

妹背牛の道路計畫

石狩雨龍郡妹背牛村に於ける道路改良工事は、本年を以て第一期を完了したので、明年度より第二期計畫に入るべく、之が基礎材料調査の爲、本月初旬より白石助役及び常設委員により之が調査中であつたが、此の程愈終結し之が完成の曉は市街地の側溝は勿論、部落道路も四通發達して愈道路の合理化が期せられる譯である。

東北方面

白石大橋架換

宮城縣白石町から福岡村に通ずる國道四號線白石大橋は、工費十三萬圓（二萬圓節約）をもつて延長百四十八米有効幅員七米五で架替へすることに決定し、更に問題を惹起した潰地その他關係變更の件は、此の程内務省において認可となつたが、右變更位置は現橋から約六十間程下流に架替らるゝ模様である。

大川道路改修

陸前桃生郡大川村宇針岡道路改修工事は約三千圓の工費を投じ農村失業救濟事業として起工以來、工程著しく進捗し、この程完成したが、同道路は通學道路として、また産業道路として、地方民の利用非常に頻繁なので、時節柄最も有意義な計畫であつ

たとよるこばれてゐる。

北陸方面

龜田道路取擴竣工祝賀式

縣道新潟福島線の中蒲原郡龜田町大上町地内は、狹隘にして交通上至大の不便を感じ、取擴工事の施行を熱望し來りたるころ、佐藤町長、渡邊縣議等の熱心なる奔走の結果、去る七月末工事施行され此の程竣工し、全く面目一新せるを以て町内民はこの工事を永遠に記念すべく去る十七日午後五時より海老倉樓に於て竣工祝賀式舉行、縣より福田技師、派遣所より小幡所長、請負人加賀田勘一郎佐藤代議士、渡邊縣議樋口署長、在町記者、町會議員一同來賓の出席あり一同着席するや五十嵐勝藏氏開式の挨拶佐藤信太郎氏より加賀田組に對し記念品を贈呈、次で福田技師の謝辭に佐藤町

長の祝辭ありて酒間十二分の歌をつくし散會したが同町内は晝間は紅白の幕を張り、夜は櫻提灯を吊るして祝意を表した。

縣道八ヶ線改修工事

越後十日町と六日町を結び上越線開通後重要路線となる縣道八ヶ線の改修工事は、近日中に隧道は貫通し遅くも月末迄には指定ヶ所迄竣工する由であるが、中魚沼地域に危険な箇所がある爲めそのまゝでは自動車通行の困難なることがわかり、この際僅か五六百圓の費用で改修が可能であるとすれば是非實現したいと島田直次、梅田英太郎の兩縣議は盡力中である。

常盤橋架替起工式

新潟縣三條町の常盤橋架替工事起工式は去る十一月三日午後一時から現場に於て舉行された。參列者は鈴木大將、阿部警務署長、穴澤稅務署長、小林校長、町會議員、地元關係區長其他約百名にして、定刻郷社

八幡宮藤崎社司に依り型の如く神事を行はれ、知事、後藤土木派遣所長、鈴木大將、原山町長、町議代表渡邊寅藏諸氏の王串奏奠で式を閉ち魚長樓に於て直會を催したが盛會であつた。

鋪道竣工の祝賀賣出し

新潟市沼垂町五の町街路は、江東に於ける交通最も頻繁の爲め、自然道路の改修工事も、度々のことなので、住民はこれを最新式アスファルト鋪道に改修方を縣當局に迫り、本月上旬來工費四千五百圓にて施行中の處、今回漸くその完成を見るに至つたので、同町五榮會主催にて祝賀會を開く事になつたが、街頭は著しく面目を一新するに至り、附近住民の喜びは又格別で、これを好機として五榮會では五日間記念景品付大賣出しを催し、歳末賣出しのトップア切る譯であつて人氣は頗るよく、しかも各商店は時節柄廉價を以て提供し、華客本位の奉仕的大賣出であるといふから定めし

好結果を収めるであらう。

關 東 方 面

道路の改良と美化愛護運動

全國各府縣下の道路愛護運動は著しく、
曩きには宮城縣公會堂に於ける聯合大會あり、今また福島縣でもこの運動を開始し大いに道路愛護の運動を起してゐるが同縣にはこの奉公的運動に一生を捧げんとする六十歳の老人がある——それは同縣信夫郡飯坂町泉州閣(温泉旅館)の主人大場鏗一氏で、氏は何等名譽に驅られたものでなく眞の篤志家で冤囚保護等にも盡力し、最近では道路愛護運動のために次の如き道路映畫を作成し縣下各郡を映寫巡行して居る。

- 一 道路愛護を必要とする場面(五場)
- 二 道路は交通機關中の最も主要なものにして文化生活中に於ける幸福の魁をなすものである(六場)

地 方 通 信

三 道路上に於ける兒童の惡戯は通行者を苦しめ又惡道路のため車力等の苦しみつゝある狀況(七場)

四 不完全なる道路による交通上の危險

(四場)

五 道路の完成美化は人類幸福最善の道

(一場)

六 道路愛護宣傳(六場)等である

東 海 方 面

岐阜大垣間國道改修起工式

大垣驛前より大垣市内を貫通して掛斐川を渡り墨俣町を経て長良川に達する延長二里二十五町に亘る大改修起工式は十一月五日午後一時から大垣市の改修起點で舉行され縣より鵜澤知事、大竹内務部長、後藤土木課長、市よりは東島市長其他多數參列嚴肅裡に執行され齋藤政務次官は内務大臣の祝辭を朗讀し夜は市長主催の懇談會あり今

宿農侯等も各戸國旗軒提灯を出して祝意を表した。

庄川地方道路改修起工式

岐阜縣大野、郡上兩郡に亘る庄川地方道路改修工事は鵜澤知事詳細調査中の處此の程愈々旅行に決し十一月六日午前十一時關係諸員列席の下に盛大なる起工式を其の中央部白鳥町で舉行した。

近 畿 方 面

枚方大橋の概要

枚方大橋竣工式に付ては前號に大要を記載して置いたが、本號の口繪に之を掲載したから、工事其他に就て再報する、本橋の位置は淀川河口より二五・八軒上流の地點であつて、(左岸大阪府北河内郡枚方町、右岸大阪府三島郡大冠村)府縣道枚方高槻線に屬して居る、由來淀川筋は古くから京都御幸橋より下流長柄橋まで八里の間に一の橋

梁もなく僅かに扁舟に掉して兩岸の交通を

して居たやうな狀況で、架橋の翹望は三

百餘年の聲であつたが今茲に本橋が架設さ

れ附近の喜びはもとより攝河の聯絡も之で

成り産業にも水防にも軍事上にも非常な貢

獻を齎らす事になつた譯である、工事の概

要は延長六七・八米、幅員六・三米高五・八米

で型式はブラツトトラスである、次に配樑

に付て見るに曲弦樑徑間は六一・七米が二

連、平弦樑徑間は三七・八米のもの十一連、

同三三・八米突のもの二連、同二八・二米の

もの二連である、床版は鐵筋コンクリート

厚一五〇耗、鋪裝はアスファルトプロツク

厚四五耗、橋臺は杭打基礎二臺、橋脚は十

六基の内七基は井筒基礎で、九基は杭打基

礎である、架橋費は六十一萬一千八百四十

一圓で（工事費五十六萬六千五百十六圓、監

督費四萬五千三百二十七圓）昭和四年四月

に起工し爾來十八箇月を要して竣功したので

である。因に鐵骨製作は松尾製作所、鋪裝

工事は大日本アスファルト工業株式會社で

ある。口繪参照。

會我井橋開通式

西播一のモゲン橋——楯保郡新宮村井野

原、會我井間の楯保川會我井橋開通式は長

官代理小池龍野土木主幹はじめ、上田、柳

澤兩縣議、眞鍋署長、附近町村長等來賓百

數十名列席、齋主小池、三宅兩神官の手で

型の如く執行し、辻井村長の式辭、長官代

理の告辭、請負人同村進藤信治氏の工事報

告、來賓祝辭などあつて渡初めに移り同村

井野原田淵作太郎氏一家三夫婦と小學生の

渡初めあり餘興に餅撒き、芝居、浪花節、

作り物などもあり早朝から數千名の人出に

大變な賑ひを見せた。

櫻宮の吊橋渡初

橋長六十間、百二十八萬圓の工費と二年

半の日子を費して出來上つた櫻宮大橋の落

成式は、櫻宮神官の祝詞、祭事の後、後藤

委員長の祝辭、島大阪市土木部長代理の工

事報告、關大阪市長及び白川市會議長の祝

辭後直ちに渡初めに移り、神官を先頭に瀧

川、松枝の二高齡夫婦は橋の兩詰から、櫻

宮聯合の人々と同じく東詰からしづくと

進み橋の中央祭壇の前で行き違ひ、一齊に

萬歳を唱へ、六千名の小學校、幼稚園生徒

これに和し、盛會裡に午後二時式を終つた、

この日櫻宮町沿道は國旗を立て、祝ひ附近

一帯はおびただしい人出であつた。

近代的な新型有野橋竣工

神戸から三田に通ずる縣道有馬郡有野村

の有野川に架設された有野橋は、去る六月

六日起工、此の程竣工した。工費は一萬七

千圓、全長百十三呎七吋、幅員十八呎、鐵

骨コンクリート、鐵材ガードで橋面はアス

ファルトプロツク、監督は三田土木出張所

植田技手、請負は中村組中村熊吉出來上つ

た橋は、近郷に例を見ぬ壯麗なモゲン橋と

いふことである。

中國方面

鶴見橋の渡初式

天下の名園後樂園が特別大演習に大本營に充てられこれに通ずる鶴見橋は古くなり又岡山驛より此處に至る道路は路面の凸凹甚だしく御道筋として恐懼に堪へぬので、これが大改修を施したが鶴見橋は本年五月一日著工約半歳の日子と總工費十七萬八千五百八十五圓を費し、去る十月三十一日を以て竣工し、鶴見橋より岡山驛に通ずる道路の舗装も今夏著工此程完成したので、祝賀式が舉行された。鶴見橋は橋長一四七・六メートル有効幅員七・四四メートルで名苑後樂園にふさはしい様苦心の計畫になつたもので、混凝土の臺石の上に木曾御料林の尾州檜の生地の高欄を造り之に擬寶珠をつけ左右四箇所に古雅なる突出部を設け春日燈籠を取りつけ、誠に高尚優雅なもので橋

脚橋臺共に淡い茶褐色に塗られ上下の調和をとり橋梁界の一異彩である。

九州方面

國道、縣道、市道續いて舗装

八幡市が多大の犠牲を拂つて、縣當局に要望した市内九軌沿線國道縣道舗装は、十一月廿二日から大藏通り町二丁目から開始した。本年度は八幡市の寄附金五萬圓を以て約二千米を遂行するが、同工事は製鐵所自慢のターパス舗装、アスファルト舗装濕透法等各種簡易舗装を試験的に行ふ豫定である。又市道舗装は設計を終へたので月末から岡田町一、二丁目仲町一丁目中本町三丁目新町五、六丁目を着工の豫定であるが、縣及び製鐵所技術者の腕比べと縣土木管區は意氣込んでゐる。

福岡縣の道路機械購入

失業救済關係事務其他の要務を帯びて上京中の森山福岡縣道路主事は、復興事務局より十噸ロードローラー二臺、バツプフロイタムデム型スチムロードローラー八噸三臺スカリアイヤール等を原價の約三割にて譲り受の協議を了し、復興事務局及び松本知事の決裁を得たので、近く復興局藏前物品倉庫より現品發送の手續中である。

小倉別府兩市の改良舗装

別府温泉は世界的に有名となり、海外より續いて來浴者あるも、道路の不整備は來遊者豫期の好感を裏切り、短時日にて去る者相接する状況に鑑み、市當局は此の際同温泉發展の第一策として道路の改良を計畫し、今回復興事務局に道路機械の拂下方を出願大體容認せられ、また小倉市も既にロードローラーの拂下げを得最近到着運轉試験の上愈舗装に着手することになつた。